

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦
Dコート 第2試合 県立深谷第一高校

チームA 県立幕張総合 千葉	94	{ 25 - 6 28 - 18 19 - 20 }	69	チームB 県立鹿児島工業 鹿児島
-----------------------------	-----------	----------------------------------	-----------	-------------------------------

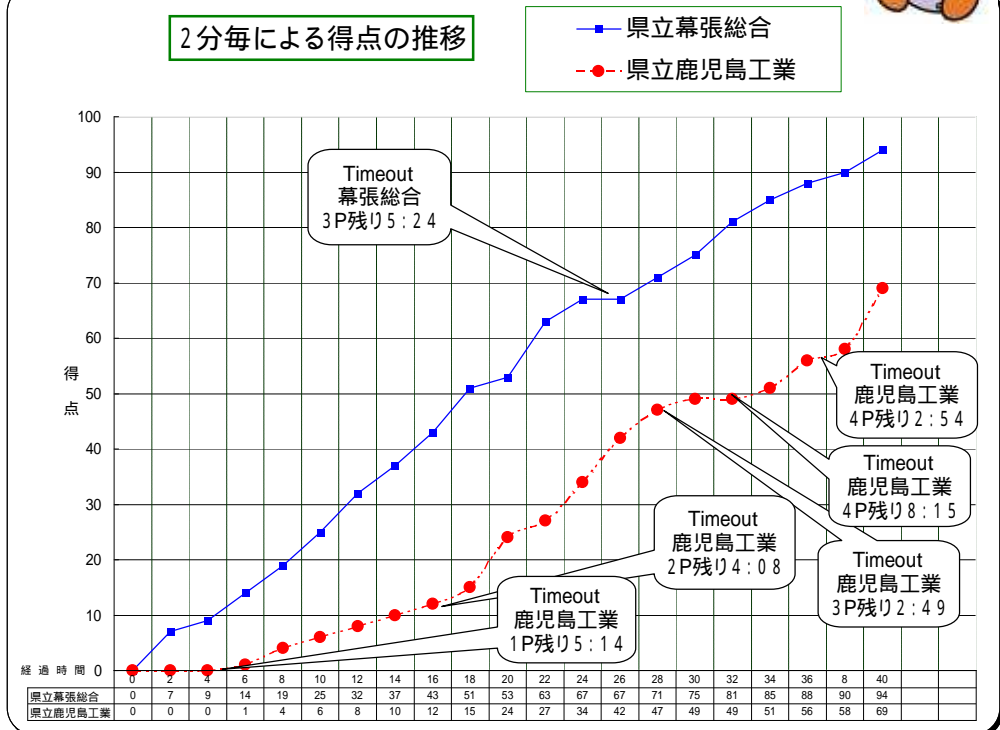
県立幕張総合

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	金子 琢哉	X	6	0	0	3	8	0	2	1	0	6	1	0	7	0	35
5	横山 拓巳	X	22	6	9	2	10	0	0	1	4	3	0	3	3	0	33
6	渡邊 良健	X	27	6	15	4	12	1	2	4	0	8	0	0	4	0	25
7	山田 元太郎	X	5	1	2	1	2	0	0	4	2	2	0	0	3	1	24
8	石澤 雄馬	/	4	0	0	1	3	2	2	1	2	0	3	0	0	0	12
9	阿部 勝馬	X	13	0	0	4	9	5	6	0	6	4	1	0	0	7	27
10	中村 考宏	/	4	0	2	2	4	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5
11	鈴木 暁良	/	6	0	1	3	5	0	0	1	1	0	1	0	2	0	11
12	重田 智幸	/	0	0	1	0	2	0	0	2	1	1	1	0	1	0	5
13	渡邊 清孝	/	2	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
14	松尾 和樹	/	4	0	0	2	2	0	0	2	4	3	1	0	0	0	15
15	高山 陽実	/	1	0	0	0	2	1	2	0	0	0	2	0	1	0	4
コーチ	飯沼 加寿夫									0	0	0					
出場: ×は先発、/は出場	94	13	30	23	62	9	14	18	21	28	11	3	21	8			200
確率		43.3%		37.1%		64.3%			計	49							

県立鹿児島工業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	西 大樹	/	1	0	0	0	1	1	2	1	0	2	0	0	0	0	3
5	小城 勇人	/	2	0	0	1	3	0	0	2	0	1	1	0	0	0	7
6	有馬 啓太	X	20	0	3	9	23	2	6	1	2	4	5	1	2	1	32
7	坂元 優斗	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
8	久保田 竜馬	X	10	2	6	0	0	4	7	2	1	3	3	2	2	0	31
9	圓林 順平	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
10	山下 広大	/	4	0	4	2	2	0	0	2	0	0	1	0	1	0	18
11	中馬 健志	/	2	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
12	中深迫 諒太	X	7	0	0	2	11	3	4	2	1	7	4	0	0	0	37
13	寺師 孝治	X	11	0	0	5	9	1	2	2	2	0	1	0	1	1	31
14	鮫島 和人	/	10	2	5	2	3	0	0	3	0	1	3	1	0	0	24
15	日高 宏紀	X	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	10
コーチ	宮迫 崇文									0	0	0					
出場: ×は先発、/は出場	69	4	18	23	56	11	21	15	7	18	20	5	7	2			200
確率		22.2%		41.1%		52.4%			計	25							

2分毎による得点の推移



戦評
大会2日目は初出場の幕張総合と3年連続3回目の鹿児島工との戦いとなった。
第1P幕張総合はマンツーマン鹿児島は1 1 3ゾーンでスタートする。ゾーンに対し幕張総合は#7山田#6渡邊#5横山の3Pが連続で決まりリードを奪う。鹿児島工は#12中深迫の1対1を中心に攻めるが思うように点が伸びず25対6で終了する。
第2Pに入っても幕張総合は効果的に#5横山#6渡邊が3Pを決め一気に差を広げる。鹿児島工は#12中深迫#6有馬の1対1となり単発的な点にとどまり、幕張総合のディフェンスを崩せないまま53対24で前半を終える。
第3P互いにマンツーマンでスタート、後半に入っても幕張総合の#5横山、#6渡邊の3Pは止まらない。対する鹿児島工も#8久保田の3Pで対抗するも差は広がって行く。残り6分鹿児島工はオールコートマンツーマンプレスディフェンスを仕掛け幕張総合のミスを探し#6有馬のドライブインなどで追い上げを見せ75対49で終了。
第4P互いに速い展開になるが鹿児島工のミスが目立ち幕張総合が次第にリードを広げ途中全員出場と余裕を見せる。鹿児島工も最後まで諦めず追いつき、94対69で終了した。

主審	佐藤 弘之	副審	坂本 信教	戦評	佐々木 信勝 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	-----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット